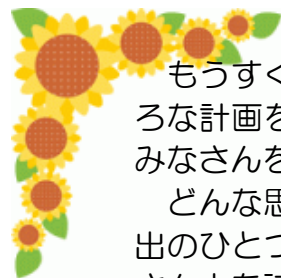


花尾中
図書
だより

Library News

2017年
第3号

もうすぐ夏休み。長い休みの間、勉強・部活・趣味いろいろな計画を立てているところでしょうか。さまざまな体験がみなさんをさらに成長させてくれることでしょう。

どんな思い出が作れるか楽しみです。忘れられない思い出のひとつに「素晴らしい本との出会い」があるよう、たくさん本を読んで、有意義な生活を送ってください。



★図書館利用状況★



6月（19日間）

来館者数 889名 1日平均 47人

貸出冊数 582冊 1人平均 1.8冊

夏休みの
本の貸出
について

貸出日 7/12（水）まで

貸出冊数 1人4冊まで

返却期限 9/4（月）まで

※いま借りている本は、いったん返してください。

どんどん増えています！



昨年に比べ、全校の貸出冊数が増えています。さて、1学期の貸出状況を学年別にまとめてみました。7月については、これらの集計になりますので、除きます。

	4月	5月	6月
1年生	218冊	201冊	140冊
2年生	159冊	220冊	207冊
3年生	177冊	144冊	167冊
合計	554冊	565冊	514冊

発表！6月花尾中学校人気図書リスト

順位	書名	著者名	出版社
1	カゲロウデイズ	じん（自然の敵P）	KADOKAWA
2	この素晴らしい世界に祝福を！	暁 なつめ	KADOKAWA
2	“文学少女”シリーズ	野村美月ほか	エンターブレイン
3	空想科学読本シリーズ	柳田理科雄	メディアファクトリー
3	アクセル・ワールド	川原 礫	アスキー・メディアワークス
3	バカとテストの召喚獣	井上堅二	エンターブレイン
3	ソードアート・オンライン	川原 礫	アスキー・メディアワークス
3	ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか	大森 藤ノ	ソフトバンククリエイティブ
4	表参道高校合唱部！	櫻井剛/脚本 桑畑絹子/小説	学研プラス
4	また、同じ夢を見ていた	住野よる	双葉社
4	君の隣をたべたい	住野よる	双葉社

♪♪♪♪♪ 夏休みに読みたい本を紹介します！ ♪♪♪♪♪



「すいかの匂い」 江国香織//著 913/エ

あの夏の記憶だけ、いつまでもおなじあかるさでそこにある。つい今しがたのことみたいに—バニラアイスの木べらの味、ビニールプールのへりの感触、おはじきのたてる音、そしてすいかの匂い。無防備に出遭ってしまい、心に織りこまれてしまった事ども。おかげで困惑と痛みと自分の邪気を知り、私ひとり、これは秘密、と思い決めた。11人の少女の、かけがえない夏の記憶の物語。



「クラスメイツ」前期・後期 森絵都//著 913/モ

中学1年生24人のクラスメイトたち、その1人1人を主人公にした24のストーリーで思春期の1年間を追う。出会いや仲違い、ときめきや自意識過剰…。子どもでも大人でもない中学生たちの姿を描いた連作短編集

著者の森絵都さんは、『リズム』『カラフル』『DIVE!』『つきのふね』などの作品で、様々な賞を受賞。



「生きるぼくら」 原田マハ//著 913/ハ

おいしいお米に驚いた青年は、病気のハアちゃんのため米づくりを始める。それは自分を探る旅でもあった…。ひきこもり青年が、米作りを通じて自然との繋がり、人との絆を得て成長する物語。

著者の原田マハさんは、05年、「カフーを待ちわびて」で第1回日本ラプストーリー大賞を受賞。12年『楽園のカンヴァス』で第25回山本周五郎賞受賞。

◆ 岩波ジュニア新書の紹介 ◆

	綾瀬はるか「戦争」を聞く 2 TBSテレビ取材班 爆心直下で被爆しながら奇跡的に命をつないだ人々、被爆直後の惨状の中で生まれた命、原爆症の父を支え続けた娘…。戦争体験者の言葉を通して平和の意味を考えます。大きな反響を呼んだNEWS 23「綾瀬はるか『戦争』を聞く」シリーズの書籍化第2弾。
	「橋本式国語勉強法」 橋本武 『銀の匙』の国語授業』で注目を集める“伝説の教師”が国語の学習法を伝授します。覚えるのではなく考える勉強、詰め込むのではなく自らの中にあるものを引き出す勉強、人生の心の糧となる勉強の喜びを見出しながら、結果として入試にも役立つ、真の国語力を身につけるための学び方です
	「なんにもないけどやってみた」 栗山さやか 109の元ショップ店員、渋谷系ギャルが世界放浪の旅へ。訪れたアフリカの医療施設で出会ったのは、HIVや末期がん、貧困に苦しむ女性たちだった。病気の苦しみから救うことはできなくても孤独からは救ってあげたいと、彼女たちに献身的に寄り添い、多くの患者たちの最期を看取ったブラ子さんが綴る感動の日記。
	「10代のうちに考えておくこと」 香山リカ 親や友だちとのつきあい方、進路の決め方、社会との関わり方など、誰もが直面する疑問や悩みに答えます。
	「理系女子（リケジョ）的生き方のススメ」 美島のゆり 自分のやりたいことを見つけて、周囲を巻き込みながら楽しくおしゃれに生きるその姿に、進路や生き方に悩む女子に限らず、多くの若者が生きるヒントや元気をもらえる一冊。
	「いま、きみを励ますことば 感情のレッスン」 中村邦生 だれかを好きになってドキドキしたり、友だちとケンカして悲しくなったり、人生のさまざまな局面で経験する感情の起伏や気持ちの変転、古今東西の文学作品のことばの中から、多様な人間模様や感情のありようを紹介しながら、解説します。生きることを深く見つめ直すきっかけとなるだけでなく、読書案内としても最適の一冊です。
	「10代の本棚 こんな本に出会いたい」 あさのあつこ 10代という多感な時期にどんな本に出会い、どんな出来事にこころ揺さぶられながら大人への階段をのぼってきたのか。その頃の心情やエピソードも交えて語ります。あなたのこころに響く一冊にきっと巡り合えるはず。

レベルアップ！ジブン知る・考える・やってみる



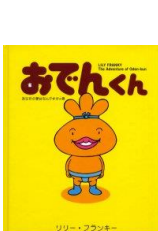
郷土ゆかりの作家の紹介



リリー・フランキー

1963(昭和38)年、北九州市小倉北区生まれ、5歳までを小倉で過ごし、それから、中学卒業までを福岡県鞍手郡宮田町（現宮若市）で過ごす。その後、大分県立芸術短期大学附属緑丘高校に進学、一人暮らしを始める。卒業後、武蔵野美術大学へ進学。イラストレーター、エッセイスト、絵本作家、アートディレクター、ミュージシャン、構成作家、演出家フォトグラファー、俳優など幅広い仕事を手がけ、多くの賞を受賞。

【作品紹介】

	「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」 2005/06 オカン。ボクが一番大切な人。ボクのために自分の人生を生きた人。四歳のときにオトンと別居、筑豊の小さな炭鉱町で、ボクとオカンは一緒に暮らした。やがてボクは上京し、東京でボロボロの日々。還暦を過ぎたオカンは、ひとりガンと闘っていた。「東京でまた一緒に住もうか?」。ボクが一番恐れていたことが、ぐるぐる近づいて来る。大切な人との記憶、喪失の悲しみを綴った傑作。
	「ボロボロになった人へ」 2003/04 これほど誠実でありながら、刺激的かつ、魅力的で、笑え、感動できていいのだろうか!? リリー・フランキーが、その才能を遺憾なく発揮した、はじめての小説。
	「おでんくん The adventure of Oden-kun あなたの夢はなんですかの巻」 2002/01 「このおにぎしをたべると夢がかなうんだよ」「ほんとうかい?」もぐもぐもぐ。「かわった味だねえ」「夢おかか味だよ」これは、とあるおでん屋さんのお鍋のなかの…誰も知らないお話です。リリー・フランキー初のオリジナル絵本。